

根室市内の在宅要介護者等への対策は？ 千島海溝・日本海溝沿い巨大地震への備え



共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第2028号 2022年08月07日
日本共産党 根室市議団
根室市宝林町4-203 TEL0153-23-6023

北海道が7月28日に示した「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定」は、根室市内の死者数が最悪のケースで2300人という試算です。根室市では災害時に在宅にいる要介護者等の対策はどのように進んでいるのでしょうか？

避難行動要支援者避難支援制度

何やら呪文のようですが、法にもとづく国の制度です。迅速な避難をするために、要介護者や障害者などのうち特に支援を必要とする人の名簿を市町村が作成し、同意を得られた方についてはその名簿は消防や警察、民生委員など関係者で共有されます。根室市の場合には要介護3以上や身体障害者1級などの方を対象に、家族の支援を得られない場合に「自己申告」で登録するシステムとなっています。

ところで根室市における名簿登録者数は今年7月時点で53名となっています。過去の国の調査（左表）で比較すると、近隣自治体よりも登録者数が相対的に低い水準に留まっています。

その理由は自治体ごとに名簿登録する基準が異なるためです。例えば中標津町では70歳以上の高齢者世帯に毎年、役場から登録の案内を送付しています。昨年度では1020件が登録されているそうです。

避難行動要支援者数	
釧路市	2,277
釧路町	722
厚岸町	358
浜中町	6
標茶町	75
弟子屈町	43
鶴居村	384
白糠町	2,065
根室市	51
別海町	282
中標津町	953
標津町	140
羅臼町	47

総務省の資料から抜粋
基準日：2020年10月1日時点

個別避難計画の策定推進が重要

自治体は避難行動要支援者が具体的にどのよう避難をするのか、支援者や避難場所や避難経路等を一人ひとり「個別計画」を策定します。昨年5月に災害対策基本法が改定され、自治体の努力義務となりました。根室市では7月時点で9件の個別計画が策定されています。前年度から2件増えましたが、まだ名簿登録者の1/5以下に留まっています。

しかし全国各地でも個別計画の策定に大変苦慮しているのが実態です。その理由として、地域の中で避難行動を支援できる体制を確保することが極めて困難ということがあります。こうした中、大分県の別府市では2018年あたりから介護ケアマネや障害の相談支援専門員など福祉の専門職が参画して災害時の避難計画を策定するという先進的な取り組みを進めているそうです。

実際のところ根室ではケアマネなど福祉専門職の体制も厳しい状況ではありますが、実態の把握や支援体制づくりをどのように進めて行くべきか、地域ケア会議等を活用して協議していく必要があると思います。また個別避難計画を策定した後も実際にどのように運用されるのかチェックする必要があると思います。

例えば友知の海岸付近に暮らす要支援者が避難所の根室高校まで車イスでどのように避難が出来るのか等、具体的に避難訓練を実施していかことも重要ではないかと考えます。

老人福祉センターを視察しました 根室市議会 文教厚生常任委員会



7月25日、根室市議会の文教厚生常任委員会は、光洋町にある老人福祉センター「じゅげむ荘」を視察しました。

昭和47年に建設され、その後平成21年に大規模改修されました。今年度はトイレを洋式化する工事が予定されています。

この間、市老人クラブ連合会と老人福祉センターの利用者から、老朽化する施設の建て替え要望書が市に提出され、5月には委員会でも要望書の提出者の方々と懇談を行いました。

あらためて文教厚生常任委員会として施設の実情を視察しながら、カラオケサークルや麻雀サークルの様子を見学し、また入浴利用で施設を訪れていた方々からお話を聞くことができました。

「自宅にも風呂があるがガス代が高いので助かっている。お風呂にはいつか、みなさんとお喋りするのが生きたい」という方も。ただセンターの浴槽は深いので、足の不自由な方は湯船を跨いで入るのが少し大変かもしれません。

また現在はカラオケなど14サークルが活動していますが、広い集会室などはすでに時間枠がいっぱいで新たな団体が利用することは困難ということでした。

市側は他の公共施設との併設もふくめて検討していきたいと思っています。機能を強化する観点から公共施設の集約化を図るという手段もありますが、一方で身近な環境に小規模でも多様な施設を点在させることも重要ではないかと思っています。これは将来の「まちづくり」をどうしていくのかという課題でもあります。

まずは現状でどういった課題があるのか、どういう枠組みで検討をしていくのかといった観点を、早くに示していくことが必要ではないかと思っています。

7月24日に旧花咲小学校の校舎を一般開放で見学しました。ところで今、コンクリート製の歴史ある門柱をどう保存するのか話題になっていますが、それは別に右の看板も趣きがあって格好良いので、保存というか移転した校舎でも活用してほしいな、と個人的に思いました。

